

気象庁 札幌管区気象台

こんな仕事をしています

気象庁は気象・地震・津波・火山活動等の自然現象を監視するとともに、これら自然現象の防災に関する情報などを発表し、自然災害による被害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに貢献することを任務としています。

主な業務

- 予報業務（警報・注意報発表、天気予報、季節予報発表等）
- 気象観測業務（レーダー、衛星などを用いた観測データ収集、観測機器の保守等）
- 地震・津波・火山業務（地震・津波観測・火山活動監視、噴火警報発表等）
- 地球環境海洋情報発表（温暖化の予測、紫外線情報等）
- 防災に関する普及啓発活動（学校等への出前授業、防災イベントへの参加等）



天気図解析



火山現地観測



南鳥島での
高層気象観測

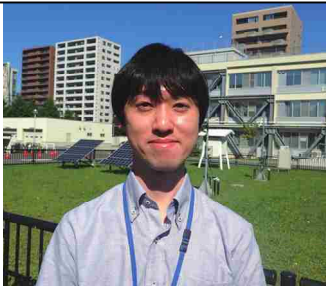
採用区分

国家一般職試験（大卒程度）
物理、デジタル・電気・電子、
化学、土木、行政から採用

採用されたら？

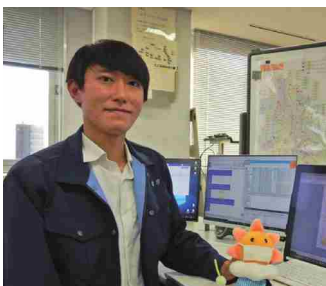
技術系区分で採用された場合は、全国の気象官署に配属されます。
転勤は2～3年毎に実施され、北海道内の官署を基本として異動しますが、本庁（東京）や全国の気象官署に異動することもあります。

先輩からのメッセージ



私の部署では、主に契約に関する手続きを行っています。直接予報や観測は行っていませんが、予報・観測機器の整備保守や庁舎の維持管理などに関する契約手続きを行っており、気象台を運営していく上で欠かせない業務です。国民の安全に直結する業務であり、日々やりがいを感じて職務にあたっています。ぜひ一緒に働きましょう！

（H28年採用 一般職（大卒程度）行政北海道 札幌管区気象台総務部会計課）



技術区分で採用になり、観測予報業務や防災業務に携わっています。天気予報や気象観測の業務だけでなく、自治体など他の防災機関と連携して行う地域防災業務などもあり、人々の生活の支えとなる仕事が多く、やりがいを感じます。いつ起きてもおかしくない災害に向けて、あなたの力が必要です。ぜひ一緒に働きましょう。

（R2年採用 一般職（大卒程度）物理 旭川地方気象台）

詳しくは“気象庁”や“札幌管区気象台”
で検索してね！

